

# 巣舞る通信



第18号 2010年12月 冬

## はぐくむ 2011年スローガン「育 夢 創 造」

巣舞いのメッセージ（住宅見学会）500回記念シンポジウム（2010年10月10日ホテルニューオータニ長岡NCホールにて開催）では大変沢山の皆様からおいいただき感謝申し上げます。

テーマは「育む」でした。巣舞づくりを中心に私達がやってきた仕事はハード的には人たちを包み込む器であります。まずは雨露をしのぐこと、外敵から家族を守ることでした。次に家族の絆を益々強めるものであり、育てていくものであります。子育てはその最たるものです。或いは趣味を育む空間であったり、自分本来を取り戻す居場所空間であったり、各人各様に思いを高めるところであります。巣舞いづくりの一手手前のテーマが「育む」ということにあらためて気がつきました。

500回記念を機にこのテーマに沿って各界の方から集まって頂き、シンポジウムを開こうという事で第一回が開催されました。稲川明雄先生からは、大河ドラマで旬な話題の龍馬伝から「龍馬を育てた女性達」について基調講演をお願いしました。日本の国を大きく変える原動力になった龍馬は兄弟姉妹や身の周りの女性達によって育てあげられた芸術品！女性が居なかったら絶対に生まれなかった龍馬のお話には皆傾注しておられました。

齊藤公男先生からは世界にある建築や世界遺産を通して人間が作り上げてきた、育て上げてきた技術・芸術作品についてお話いただきました。

秋山孝先生からは何故、人類は絵を描いてきたか？生命の原点とアートの世界・教育のあり方についてお話を頂きました。お3人の先生方よりとても貴重なお話を頂き、来会された方は夫々に感銘を受けて帰路につかれたと確信しております。このテーマ「育む」を今後とも続けていこうという事で敢えて、今回のシンポジウムを第一回とさせていただきます。

「教育は知育、体育、徳育」の3大育が中心でなされてきました。今後ともきっと様々なことばが重なって人を育て上げていくと思います。例えば、「食育」：食べ物が危険である！また「職育」：家庭や学校で学んだり、教えることができないことごとくも多々あることをどのように職場で教育していくかも、事業継続上の最重点課題になっていることも事実です。

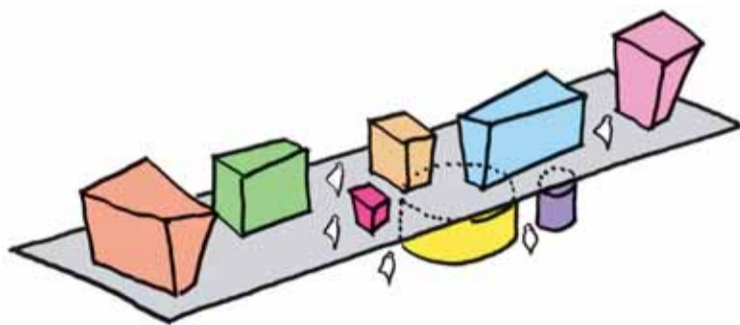
今後とも様々な「育」が取り上げられていかなければならない事は間違いのないことです。私達も社会的責任においてその一端に力を注いでまいりたいと思っております。

その大前提に、まず私達の仕事としての使命感は「巣舞づくりは夢づくりであり、夢が単なる絵空事ではなく夢を実現していくことが重大であるという立場から、「はぐくむ=育む=育夢」とさせていただきます。

巣舞づくりはとても沢山の想いがこもったプロセスを経て実際の形として実現してまいります。我が家の将来の夢・家族一人ひとりの夢・その夢実現には手をぬかないで確りと真正面から取り組んで行きたいものです。そんな、意味を込めて2011年のスローガンを「育夢」とさせていただきます。

日本から四季が消えるのではないかと危ぶまれている昨今の気象状況でもありますが、弊社も健康第一に皆様の「今日も元気で楽しい我が家を目指した巣舞いづくり」のお手伝いをさせて頂けたら幸いです。それでは皆様ご家族のご健康とご平安を祈念し、来る年も宜しくお願ひ申し上げます。

(株)高田建築事務所  
代表取締役  
高田清太郎



Smile village  
巣舞るビリッジ



<http://www.takada-arc.com>

私も社員に押されて(?) ホームページにブログを持っております。昨年5月から始まったブログですが、少々長いとか、硬すぎるとか？ 様々な意見をいただきながらゴー・オン・マイウェイでわが道を行くブログです。時々覗いてみてください。ご意見いただけるとありがたいです。

**500回記念イベント・第38回ライブトークフォーラム  
ご来場記念品作りました。**

第38回ライブトークフォーラム開催と巣舞るメッセージ500回を記念して、タカダオリジナルエコバックとDVD、パンフレットを作成しました！10月10日にご来場頂いた方へ受付にて進呈させていただきました。いずれも秋山孝先生のイラストが描かれていて、大好評でした。